

# 志小安全・防災だより



H30.7.2 NO.15  
安全・防災担当：早坂 潤

## 学校の職員で各地区の安全点検を行いました！

関西地方を震源地とした大地震により、ブロック塀が倒れ、小学4年生が痛ましい事故に巻き込まれました。このような事故を私たちの周りから絶対に出さないためにも、地区の安全点検を一斉に行いました。その結果、大地震が発生した際に気を付けなければならない看板やコンクリートの塀、側溝の蓋がずれている箇所などが存在することが分かりました。各地区の危険箇所等については、私たちよりも、保護者の皆様の方が詳しいと思いますが、何か情報が入ったときにはお知らせください。学校としても、子どもたちに何が危険なのかをしっかりと教えていきたいと思っております。



木が転がりやすい状態



傾いたブロック塀



土砂災害が発生しそうな場所

普段何気なく目にしている光景だとは思いますが、もし、ここで大地震や台風等の自然災害発生したことを考えると、周りには常に危険意識をもたなければならない場所がたくさんあります。

## 1年生が学校内の防火設備について教えていただきました！

27日に、先日行った4年生に引き続き今度は1年生が、消防署の方より学校内の防火施設について教えていただきました。子どもたちは、非常用標識には、緑色の部分が多い標識と白色の部分が多い標識があり、非常時に、この色の違いを判断できることで安全な場所の位置がどこなのかをすばやくキャッチできることを教えていただきました。また、火災が発生した時の煙には有毒なガスが含まれていることがあり、その煙を吸わないようにするためにハンカチや腕で口をふさぎ、体を低くして避難場所へ移動することを学びました。学校の中にある消防設備の理解ができれば、他の場所（デパートやホテル等）で万が一何か起きた場合でも慌てることなく避難できるそうです。



子どもたちは、教室で消防署長さんのお話を聞いてから、実際に煙の中で身を低くして避難する訓練や防火戸をくぐり安全な場所へ移動する訓練、保健室前にあるAEDの説明を消防署の方からしていただきました。

